

小学部 研究授業

令和6年12月6日(金) 富士特別支援学校 渡辺晴子先生をお迎えして御指導いただきました。

<研修テーマ> 「児童の「できた!」「わかった!」があふれる授業作り

～児童の気持ちに応じた支援を工夫して～

<研究授業> 遊びの指導 (小学部2年生) 単元名「おとランドであそぼう」

自分の好きなコーナーを見つけ、教師や友達と一緒に時間いっぱい音で遊ぶことができるように、様々な音が鳴るコーナーを設定し活動に取り組みました。「ぺたぺたコーナー」では、缶やトレーをたたく音、たくさんの卵パックを足で踏みつぶす音等感触とともに楽しむことができました。



「がっきコーナー」では、ケースやペットボトルで作ったマラカス、ゴミ箱や缶で作った太鼓、軍手に缶を付けたカスタネットなど様々な手作り楽器から好きな音を見つけることができました。「きらきらコーナー」では、音を鳴らすことで光るおもちゃを繰り返し光らせることができました。「ダンスコーナー」では、自分の好きな楽器を手に演奏したり、ダンスをしたりすることができました。子どもたちはそれぞれに自分の好きな遊びを見つけて楽しみました。

今回の授業が「おとランド」ということで、渡辺晴子先生から音・音楽遊びについての御助言もいただきました。「音」は言葉に依らない表現ができたり、音の鳴る物を介してやり取りができたりする魅力があることや、音を受容する姿、活動を考える上での留意点も教えていただきました。今後御助言いただいたことを授業に活かし、教材や児童との関わり方の工夫をしていきたいと思ひます。

